



「戦争と美術」村田 真

ゲスト  
大谷省吾、林 洋子、木下直之、河田明久

- ① 1/26 ② 2/2 ③ 2/9 ④ 2/16  
⑤ 2/23 ⑥ 3/2 ⑦ 3/16 ⑧ 3/23



2015年は敗戦70周年、各地で戦争と美術を巡る展覧会が企画されています。一方で、東日本大震災以後アーティストの社会的役割や責任が問われるようにもなりました。こんな時代だからこそ、もういちど「戦争と美術」について考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

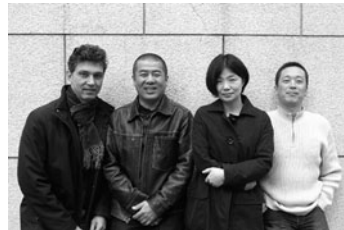
- 1/26 大谷省吾「東京国立近代美術館の戦争記録画とその周辺」  
2/2 林 洋子「藤田嗣治 一二つの世界大戦を経て」  
2/9 河田明久「画家と戦争1」  
2/16 河田明久「画家と戦争2」  
2/23 河田明久「画家と戦争3」  
3/2 河田明久「画家と戦争4」  
3/16 木下直之「戦争とモニュメント」  
3/23 木下直之「戦争とスペクタクル」

大谷省吾（東京国立近代美術館主任研究官）  
林 洋子（大原美術館特別研究員）  
河田明久（千葉工業大学教授）  
木下直之（東京大学教授）

「横浜の空き家」

みかんぐみ

- ① 1/13 ② 1/20 ③ 1/27 ④ 2/3  
⑤ 2/10 ⑥ 2/17 ⑦ 2/24 ⑧ 3/3



横浜の空き家には、どんな可能性が広がっているのかを考える。前半4回では、空き家利活用の現場（実例や検討の肝など）をみかんぐみメンバーがそれぞれ解説する。後半4回は、実際の空き家を題材に、受講者による活用提案の課題（全体で6~7チームのグループ制となる予定）。最終回はみかんぐみメンバー全員（予定）による講習会。空き家活用に興味のある方なら誰でも参加OK!

日程=1/13竹内、1/20Manuel、1/27加茂、2/3曾我部、2/10曾我部、2/17竹内、2/24Manuel 3/3全員

みかんぐみ|加茂紀和子、曾我部昌史、竹内昌義、マニエール・タルディッツによる建築設計事務所。1995年NHK長野放送会館の設計を機に共同設立。戸建住宅から、保育園、グループホームやライブハウスなどの建築設計を中心に、家具、プロダクトやアートプロジェクトまで幅広くデザインを手がけている。

「アート・コーディネーターの仕事 vol.5」

児島やよい+内田真由美

- ① 1/7 ② 1/14 ③ 1/21 ④ 1/28  
⑤ 2/4 ⑥ 2/11 ⑦ 2/18 ⑧ 2/25



展覧会やアートイベントを実施するには、きめ細かな企画とコーディネーションが必要となります。「ネオテニー・ジャパンー高橋コレクション」展(2008~2010年 全国巡回)、「マインドフルネス高橋コレクション展 決定版2014」(名古屋市美術館)ほか、2人が近年関わった展覧会の事例を中心に、キュレーター、コーディネーター、アートに関わる幅広い仕事について具体的にお話します。

うちだまゆみ|三重大学教育学部美術科卒業。新聞社、出版社、ギャラリートークを経て、1994年よりフリーランスのアート・コーディネーター。企画、コーディネートした主な展覧会・プロジェクトに「第2回大地の芸術祭プレイベント<天空散華・妻有に乱舞するチューリップ>〜川幸夫「花狂」>」(2002)、「草間彌生 クサマトリックス」(2004 森美術館)、「荒木経惟 東京人生」(2006 江戸東京博物館)、「AERA創刊20周年記念写真展 坂田栄一郎」(2008 丸の内エリア)、「大野智 FREESTYLE」(2008 表参道ヒルズ)、「梅佳代写真展 ウェップ」(2010 表参道ヒルズ)、「高橋コレクション展」など。

こじまやよい|慶應義塾大学文学部卒業。OL時代とナジジョウアンドアソシエイツ勤務を経て、2000年よりフリーランス・キュレーター、コーディネーター。横浜トリエンナーレ2001事務局コーディネーターを務めた後、メゾンエルメス8Fフォーラムでの企画展「須田悦弘・中村哲也の好き間」(2002)、「川幸夫 誘いの夢...」(杉本博司 歴史の歴史) (2003)をキュレーション。森美術館の「草間彌生クサマトリックス」展(2004)、「高橋コレクション展」などを手がける。ライターとして執筆活動も行う。「わたしを変える」アートとファッション・クリエイティブの課外授業(共著、PARCO出版)。慶應義塾大学、明治学院大学、学習院女子大学非常勤講師。

ワークショップ「転換期の舞踏」

大野慶人

- ① 1/8 ② 1/15 ③ 1/22 ④ 1/29  
⑤ 2/5 ⑥ 2/12 ⑦ 2/19 ⑧ 2/26



ダンスはある時代、ある状況の中でつくられる。舞踏というダンスは日本の60年代の社会状況の中でつくられた。その状況は既に変わっている。ダンスはその時代の状況と結びつくべきか、より普遍的問題に寄り添うべきか。時代の転換期にあって、自分の踊りとはどうあるべきか考える時、はじめて今の状況が何なのかに思い至る。このワークショップでは土方巽、大野一雄から私が学んだことを伝えと共に、舞踏の今について皆さんと考えてみたい。

おおのよしと|1938年東京に生まれる。1959年土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。以後、アルト一館、暗黒舞踏派公演に参画。1969年初リサイタルのあと舞台活動を中絶。85年「死海」の大野一雄との共演でカムバックした。86年以降大野一雄の全作品を演出。1998年、郡司正勝氏の遺稿を基に自身のソロ作品「ドリアン・グレイの最後の肖像」を上演。近作に「たしかな朝」(2010)、「時の風」(2012)など。著書に「大野一雄 魂の糧」(フィルムアート社)。

コレコ again 2 ※この講座は無料です

コーディネーター: 佐々木龍郎(佐々木設計事務所) 馬場正尊(Open A)

- ① 1/16 ② 1/23 ③ 1/30 ④ 2/6  
⑤ 2/13 ⑥ 2/20 ⑦ 2/27 ⑧ 3/6



横浜は明治時代に国が整備した港をベースに、市がイニシアティブをとりながら都市をデザインしてきた街だ。現在、1965年にスタートした六大事業もひとまずの完成をみせ、住みたい街、遊びにいきいたい街の全国ランキングのトップレベルに位置する。一方、新市庁舎計画及び現市庁舎(周辺ビル)の再活用、北仲地区の再開発、新横浜駅ビル計画、中央市場統合、旧Y-CAT跡地や東横線廃線跡の活用、郊外団地の再生、国所有の土地の活用等、都心部の再編、再生の課題は、緊急を要するものも多い。このゼミでは、前回の「都心部」「インフラ」「観光」「人口」等のキーワードを再び巡りながら、「これまでとこれから」について、不十分だった議論を深めていきたいと考えている。そして、「どのような街にすみたいのか、どんな街にしていきたいのか」というごく日常的な問題を共有していきたい。

参加条件: 参加動機400字程度提出

BankARTschool

BankART スクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。時間=19:30~21:30  
会場= BankART Studio NYKにて

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankART ショップでの買い物が5%割引、BankART パブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。

また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ

BankART スクール事務局  
school@bankart1929.com  
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813  
BankART Studio NYK  
〒231-0002 横浜市中区海岸通 3-9